

特集

# 福島県男女共生センター ってどんなところ？

～わくわくドキドキ探検レポート～

## 福島県男女共生センター ～女と男の未来館～

女性（婦人会等）の学習拠点となる施設の位置付けとして、平成4年度の福島県長期総合計画において「福島県女性総合センター（仮称）」の整備検討が明記されました。平成11年に愛称を公募し、平成13年1月18日に開館しました。



### 【住所】

〒964-0904  
福島県二本松市郭内一丁目196-1

### 【連絡先】

TEL：(0243)23-8301(代)  
FAX：(0243)23-8312

### 【ホームページ】

<https://www.f-miraikan.or.jp/>



## 福島県男女共生センター の基本理念と3つの機能



### 情報機能

- 図書、資料等の情報収集と提供
- 調査研究



### 自立促進機能

- 男女共同参画関係の普及啓発、研修
- 相談対応



### 交流機能

- 個人や団体等の交流、ネットワークづくり支援

性別の違いにより行動や生き方を狭められたり、特定の仕事や役割がどちらか一方の性に偏ったりすることなく、女性も男性も個人として尊重され、互いに支え合い、共に責任を担う社会「男女共同参画社会」の実現を目指して設置されました。

一人一人が主体的に男女共同参画についての問題に取り組み、豊かな人生を送るための実践的活動拠点として活用できる施設です。

## 図書室



約4万冊の書籍が取りそろえられています。より多くの方が借りることができるよう県内の図書館と連携することで、遠方の方でも読みたい書籍を近くの図書館へ送ってもらうことができます。



- ジェンダー関係の書籍が多く取りそろえられている。
- 定期的に設置される特集ブースが目にとまりやすい。
- 絵本コーナーがあって小さい子どもも楽しめる。
- ジャンル別にお楽しみ袋が用意されるなど、本を借りることを楽しめる工夫がされている。

大人数を収容できる研修ホールや少人数向けの研修室の他、工作室や調理室などがあり、多岐に渡った用途で使える施設になっています。



## 研修ホール



- 発表の場として400人収容できる。



## 研修室

- 広さはさまざまで25名から110名まであり、用途で使い分けることができる。
- 研修室の窓からは中庭が見えて開放感がある。



## ホール

- 団体などの冊子やイベント情報等のチラシが置かれているブースがあり、椅子もあるので休憩しながら利用できる。



## 福祉機器展示室

- 多くの器具や設備が設置されており、さまざまな場面を想定された実習を行うことができる。



## 宿泊室

2名タイプ(洋室)と4名タイプ(和室)があり、洋室と和室を合わせて22部屋の宿泊室があります。

- 窓から裏山の木々を眺めることができ、自然を感じながらリラックスできる。
- 研修と合わせて利用すると安価で利用することもできるのでオオススメ。
- 誰でも利用できるので、観光時にぜひ！



## 車椅子対応の部屋

- 車椅子対応の部屋とそのバスルーム内は他の部屋より広がっている。段差のない作りのため、安心して利用できる。



## 車椅子対応のバスルーム

## 視察を終えて(編集委員より)

- 人が集まりやすい雰囲気、会議室や研修室にも表れていました。ホールの広さもさることながら、用途によって使い分けしやすそうで、気軽に活用できそうです。福祉機器展示室にある器具や設備も豊富で、介護などの課題を身近に感じることができました。イベント開催の夢が膨らむ施設でした。
- 図書室は、男女共同参画の本に特化した内容のみならず、子ども向けの図書も充実していて、本に親しめる豊かで静かな環境です。